

令和 5 年度の事業評価及び令和 6 年度の事業概要について

基本目標Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進

推進項目

- (1) トップアスリートの育成・強化の推進
- (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実
- (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

◆…改善の余地がある事業

施策の実施内容 (D0)

- 白崎資金を活用した表彰事業の終了に伴い、スポーツ少年団本部では、大会で優秀な成績を収めた子ども達を応援するために優秀選手章の表彰を令和 5 年度から始めた（3 競技、26 名）。
- 指導者の資質向上を図るための実技講習や講演会等の開催を（公財）酒田市スポーツ協会へ委託しており、令和 5 年度は次の 2 回の講習会を開催した。1 回目は「スポーツ栄養マネジメント ～試合（本番）で力を発揮するために～」をテーマに、元パイオニアレッドウィングスの栄養トレーナーとして活動していた山口喜代美氏を講師に招いた講演会を開催した。2 回目は実技指導講習として、昨年度に引き続き市内で整体/コンディショニングサロンを営む伊藤徳明氏から、運動時の状況に応じたテーピングの使い方を学ぶ講習会を開催した。
- ◆実技講習や講演会に、より多くの指導者や保護者等に参加してもらう方策を検討する必要がある（1 回目：60 名、2 回目：18 名）。
- スポーツ少年団本部指導者研修会では、新潟県レクリエーション協会専務理事・事務局長の渡辺耕司氏を講師に招き、当協会が提案する数種類の「レク式体力チェック」の中から実際に団員や指導者が体験し、体を動かす楽しさを学んだ。今回から子ども達も一緒に参加できる内容にして研修会を実施した。
- 山形県縦断駅伝競走大会・女子駅伝競走大会に出場する酒田飽海チームに負担金を支出し、チームを支援した。（県縦断駅伝：総合 5 位、女子駅伝：準優勝）
- 県内初開催となった第 20 回ジョイフルスローピッチソフトボール全国大会に補助金を交付した。台湾からの参加とあわせ計 34 チームが参加し、一定程度の経済効果があったと考える。
- 令和 5 年 11 月場所で本市出身の北の若関（八角部屋）が新入幕を果たした。スポーツ振興課では、年間を通じて毎場所の星取表を市役所 1 階ロビーに掲示した。
- ◆2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN に参戦している「アランマーレ山形」について、令和 5 年度はミライニを会場に入れ替え戦の V. チャレンジマッチを含め 5 日間にわたりパブリックビューイングを実施した。なお、チームの戦績等の影響もあると思うが、パブリックビューイングの参加者数が毎回 20 人程度と少なかった。

施策としての現状評価（CHECK）

- 選手のモチベーションを高めるために、表彰や激励金の交付を継続していくことが有効と考えられる。表彰に関しては、白崎資金を活用した事業は廃止されたが、代替制度としてスポーツ少年団本部で団員を対象に県大会等で優秀な成績を収めた子ども達を表彰する制度を新たに創設したことでカバーできたと考えている。
- 食育や傷害予防ケアなどアスリートを育成するに必要な不可欠な内容の講習会を開催することは、トップアスリートを育成する指導者の養成・確保に繋がっていると考ええる。
- 市スポーツ協会から各競技団体へ交付される強化費の支出基準が見直されたことにより、選手の育成強化、指導者の育成・資質向上に繋がった。
- ◆国民体育大会への出場種目数が減少している要因としては、指導者不足により有望なジュニア世代の選手が市外・県外へ流出していること等が考えられる。
- ◆トップレベルのスポーツに触れる機会については、直接市民が観戦できる機会確保という点で市内体育施設での全国大会の開催はなかなか実施できていない。
- 再入幕の期待が掛かる北の若関や SV リーグへの参戦が決定したアランマーレ山形の活躍は、市民の「みる」スポーツへの興味・関心を高めることに寄与していると考ええる。

改善の内容（ACTION）／令和6年度以降の計画（PLAN）

- ・スポーツ少年団本部による表彰では、指導者表彰に加え、引き続き県大会以上で優勝した団員の表彰を実施していく。
- ・指導者の確保、特に若手の指導者の養成と確保に努めることが重要と考えられるため、今後も市スポーツ協会や県スポーツ少年団本部等と連携しながら、指導者講習会の内容充実を図り、指導者の養成・確保に加え、その資質向上に努めていく。
- ・トップレベルのスポーツに触れる機会を数多く創出して、市民の「みる」スポーツへの興味と関心を高める。

数値目標

		指標値（R6）	現状値	現状値（R5）
KPI	国民体育大会への出場種目数	20種目以上 (R11 20種目以上)	H30 19種目	13種目

関連事業

No.	事業名	指標			事業費（千円）
		指標名	単位	R4 年度	R5 年度（決算）
				R5 年度	R6 年度（予算）
1	白崎資金スポーツ振興事業 (R4 年度で廃止)	研修会満足度 (5段階評価で4以上の評価率)	%	100.0	—
				—	—

(事業概要)					
○白崎資金を活用し、実技講習や講演会を開催し指導者の資質向上を図る。					
○地区予選を勝ち抜き、上位大会等において優勝した選手や世界大会に出場するなど優秀な成績を収めた選手を表彰し、スポーツの振興を図る。					
2	トップアスリート 育成支援事業	国民体育大会への 出場種目数	種目	15	14,587
				13	13,256
(事業概要)					
○市スポーツ協会の活動に対して補助金を交付し、国民体育大会や各種全国大会等に出場可能なトップアスリートの育成を支援する。					
○山形県縦断駅伝競走大会や山形県女子駅伝競走大会の実行委員会等に対し負担金または補助金を支出する。					
○全国大会等上位大会へ出場する市民へ激励金等を交付する。					
○小中高・一般の一貫した指導体制の確立と指導者の資質向上を目的に講演会等を開催する。					
3	生涯スポーツ推進 事業	スポーツ行事への 参加者数	人	21,961	6,506
				33,981	9,177
(事業概要)					
○市民が参加しやすいスポーツイベント（市体育大会、ラン&ウォークイベント）を開催する。					
○地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担うスポーツ推進委員の各種研修への参加を充実させる。					